

# イネ科植物図説 (生活体の特徴を基礎とした)

藤 本 義 昭

本邦のイネ科植物については1930年に本田博士が Monographia Poacearum Japonicarum に又大井博士は1941年から1942年にかけて植物分類地理、植物学雑誌及び植物研究雑誌に日本のイネ科植物について詳細な発表もある。併もこれらは花に重点をおいた分類であり類似した個体の幼時には識別が困難である。そこで筆者は生活体の特徴を主とした分類を確立したいと念願し、神戸附近のイネ科植物について研究し、ここにその一成果を図説して発表する次第である。本科の生活体、特に小舌部の術語については Hitchcock 氏の A key to the grasses of Montana に詳記されているが今主なものを拾いあげると小舌 Ligule 契型 Erose 截型 Truncate 裂状型 Lacerate 鋭型 Acute 鋭尖型 Acuminate 葉基 Auricles 色帯 Collar 葉鞘 Sheath などがある。

なお本研究につて種々御指導いただいている兵庫高校室井紳先生に深く感謝する。

## 種の記載

### アオカモジグサ *Agropyron ciliare* French (Fig. 1)

多年生草本で密に叢生する； 関節部は両縁で広く、中央背部で狭くなり、基部の一方は葉基に続く、1.5 mm、一方は軽く突出(0.3mm、)してそのまま葉鞘(葉鞘の抱合せの内側)に続く。小舌は契型にして膜質、1mm、葉鞘は開き、脈は顕著にして2本宛平行し、その間に又1本ある。無毛； 葉身は巾8~10mm、先端部急に尖る。長さ14~17cm、両縁に

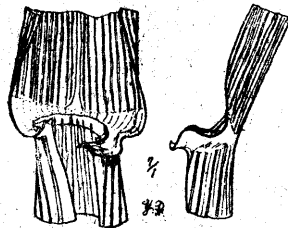


Fig. 1

非常に微細なる鋸歯を具う。脈は顕著にして2本宛平行す。表面粗波にして、脈上に短い逆刺を生ず。裏面にも粗に、より短い逆刺あり。節は紫褐色。

### ウスガカモジグサ *A. ciliare* French var. *pilosum* Honda (Fig. 2)

密に叢生する多年生草本； 関節部は両端で広く背部に於て狭くなる。基部は葉基に続く。葉基は2mm、漸尖鉤状； 小舌は膜質、契型、1mm、屢々裂ける事あり。葉鞘は開き、脈は顕著にして2本宛平行し、その間に1本あり。疎に細毛を有する事あり。葉身は巾6~9mm、長さ18~23cm、漸尖、無毛、両縁に微細鋸

歯を具う。表には短逆刺を脈上に生ず。節は黒紫色。

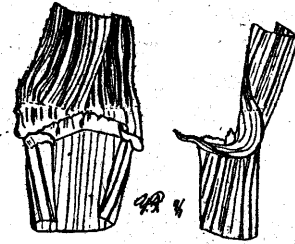


Fig. 2

### ケアオカモジグサ *A. ciliare* French, forma *Okuyamae* Ohwi (Fig. 3)

密に叢生する多年生草本； 関節部は狭く、外側は軟毛密布す。基部は葉基に続く。2mm、漸尖鉤状。先端を軽く巻く。小舌は契型にして厚膜質、1mm、屢々裂ける事あり。葉鞘は開き抱合せの外側に縁毛を生ず。脈は顕著にして2本宛平行し、全面に軟毛を密布す。特に節部近く多し。葉身は巾7~11mm、長さ15~23 cm、漸尖、鉤形。中程より下垂す。表面粗波にして、脈間粗に細毛を生ず。表裏共に短逆刺あり、節は紫褐色。

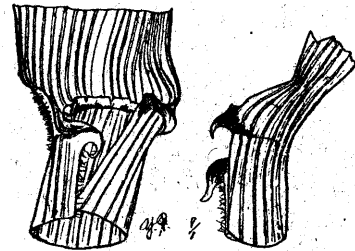


Fig. 3

### カモジグサ *A. Maebaranum* Honda (Fig. 4)

密に叢生する多年生草本； 関節部は両縁で広く、中央背部で狭くなり、基部の一方は葉基に続く。1.5mm、漸尖鉤状。一方はそのまま(葉鞘葉鞘の抱合せの内側)に続く。小舌は膜質、契形、1mm、葉鞘は開き、脈は顕著にして2本宛平行す。抱合せの外側縁に、上向せる刺状毛を有す。葉身は漸尖、先端部は鉤形。巾7mm、で長さは18~26cm、中程より先は下垂す。両縁

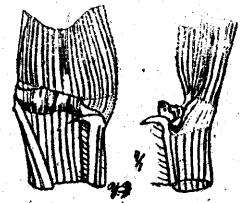


Fig. 4

に非常に微細な鋸歯を有す。表裏ともに無毛。節は紫褐色。

**ミドリカモジグサ** *A. semicostatum* Nees var. *viridispica* Honda (Fig. 5)

多年生草本で密に叢生；関節部は両縁で広く背部にて狭し。基部は葉鞘に続く。葉基なし。小舌は1mm、膜質、裂状形。葉鞘は開き無毛。脈は顕著にして2本宛平行す。抱合せの外側に有疾縁毛を生ず。葉身は巾8~11mm、漸尖、先端尖り、長さ20~26cm、両縁に微細鋸歯を有す。脈は顕著にして2本宛平行す。無毛。節は黒褐色。

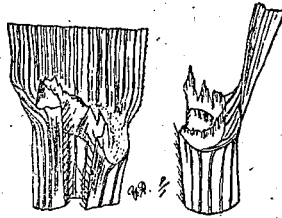


Fig. 5

**ダンテク** *Arundo Donax* L. (Fig. 6)

多年生で稈は直聳し密に叢生する。色帯は明瞭で背部で狭く基部で広がる。葉基なし。小舌は厚膜質で中央部では2~3、両端で1~2mm稍尖る。小舌背部より細軟毛を密に生ず。特に基部に多し。葉鞘は開き稈を抱く。脈は顕著、葉身は巾2~3cm、長さ40~50cm、中程より先端下垂し葉面光沢あり。

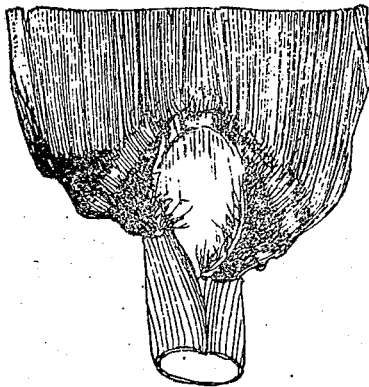


Fig. 6

**セイヨウダンテク** *Arundo Donax* L. var. *versicolor* Kunth (Fig. 7)

多年生で稈は直聳し密に叢生する。色帯は明瞭で狭く基部両縁で広がる。葉基を欠き、小舌は厚膜質で截型。1mm、小舌背部に細軟毛を疎生す。両縁基部に於ては密生す。葉身は巾2~4cm、長さ20~30cm、葉鞘

は開き茎を抱く。葉身、葉鞘共に脈は顕著にして白斑条を有す。

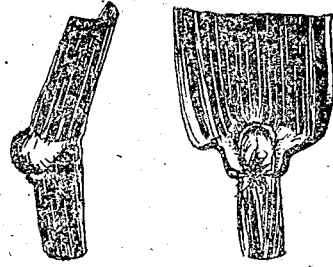


Fig. 7

**カズノコグサ** *Beckmania Syzigachare* Gernald (Fig. 8)

高さ30cm位の2年生草本で単生す。葉基なく色帯は不明瞭。小舌は膜質で鋭型。幼時は稈に密着するも成時に及び先端部そり返る。長さ3mm、基部は葉鞘に続く。葉鞘は開き縁辺部は薄膜質、淡緑色で稍紫褐色帯ぶ。葉身は15cm、脈は16本あり、脈上に微細鋸歯を有す。

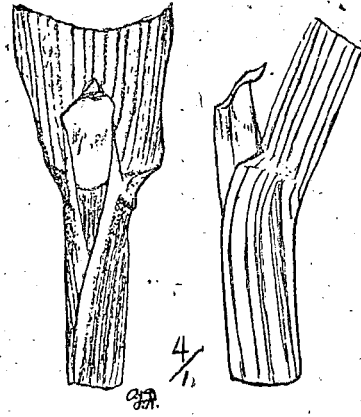


Fig. 8

**コバンソウ** *Briza maxima* L. (Fig. 9)

単生又は非常に粗に叢生する2年生草本。色帯は明瞭にして中央背部にてわずかに切れる。葉基は1つにして葉鞘の外側にあり、かすかに認められるが下向き背面部に反る。小舌は半透明膜質にして鋭型状裂型。中央部特に裂く、2~3mm、基部は葉鞘に続く。葉鞘は開き両縁部は半透明膜質。葉は粗淡にして巾8~12mm、長さ7~16cm、両縁に微細鋸歯を具う。脈は葉鞘と共に

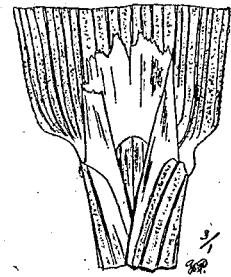


Fig. 9

顯著。特に葉に於て8条は白色透明状で著し。共に無色。

**ヒメコバンソウ** *Briza minor* L. (Fig. 10)

2年生草本で疎生又は單生する。下關節部の背部は狭く基部は左右で著しく上下があり基部はそのまま葉基に続き葉基を欠く。色帯は非常にかすかか又は殆どない。小舌は膜質で上端2~3mm突出、先端円形、小舌も葉基と共に稈を包む。葉身は両面とも光沢があり滑らか、葉脈突出、巾は8mm、長さ150mm、先は漸次尖つている。中程より先端は下垂している。



Fig. 10

**カモガヤ** *Dactylis glomerata* L. (Fig. 11)

多年生、葉は芽を抱き、色帯は広く顯著、葉基なし。小舌は薄い膜質、非常に長く鋭尖型、又は鈍形で中途より截型、中央のみ著しく鋭尖型に突出す。葉基は開き脈は突出し淡黄綠色断面は強く圧迫されたV型、背面に短軟毛を密布。葉身は長く軟かく矢張りV型、長さ20截25cm、巾1~1.5cm、縁辺及び脈間に細鋸齒を生ず。

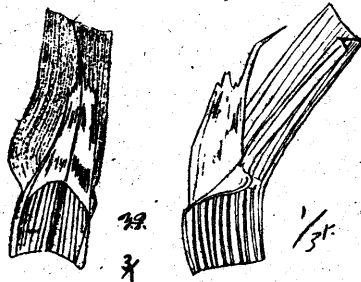


Fig. 11

**トキワススキ** *Miscanthus japonicus* Anderson

(Fig. 12)

密に叢生する多年生草本で丈2m余、幼苗は白粉を



Fig. 12

密布し紫色を帯ぶ。色帯は明瞭、葉基なし。小舌は厚膜質2mm、両縁部に長軟毛を多く生ず。葉鞘は脈顯著にして茎を抱く。脈上微細な粗鋸齒を有す。葉の脈も顯著、特に中央の脈は巾広く背面白色。脈上に粗鋸齒あり、両縁、細鋸齒を具う。巾2~3cm、長さ60cmに及ぶ。

**ススキ** *Miscanthus sinensis* Anderson

(Fig. 13)

綠色の多年生草本で色帯明瞭、葉基を欠く。小舌は厚膜質で1mm、基部に纖毛を有す。葉基は開き全面に纖毛を有す。葉身は50cm、巾1cm、縁辺に鋸齒を具え、基部に軟細毛あり。

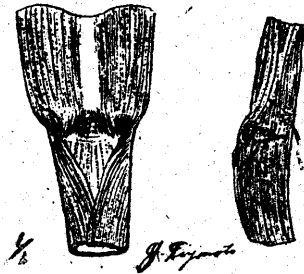


Fig. 13

参考並びに引用文献

HITCHCOCK; A key to the grasses of Montana (1900)

" ; Manual of the grasses of the United States, (1935) Washington.

LYMAN CARRIER; The identification of grasses by their vegetative characters; BULLETIN, No. 461, (1947) Washington.

M. HONDA; Monographia Poacearum Japonicarum, (1930) Tokyo.

大井次三郎; 日本の禾本科植物

植物分類地理 (1941-1942) 京都